

平成30年度 第2回学校運営協議会 記録

1 日時・場所

平成30年10月23日(火) 18:00～20:30 応接室

2 出席者

学校運営協議会委員(6名)

NPO職員、大学院教授、地元中学校長、卒業生、元本校教員、保護者
学校関係者(4名)

3 議事内容

(1) 会長あいさつ

(2) 授業等見学

(3) 学校経営計画の進捗状況 (説明者：准校長)

(4) 第1回協議会以降の学校の動向

- ・ 前期授業アンケートの結果について (説明者：教頭)
- ・ 今後の生徒会行事について (説明者：教頭)
- ・ 前期の生徒会行事について (説明者：教頭)
- ・ 本年度の懲戒及び表彰について (説明者：教頭)
- ・ 定期健康診断受検率について (説明者：教頭)
- ・ 今年度の進路状況について (説明者：教頭)
- ・ 総合的な学習の時間に係るフィールドワーク「ふるさと堺」について (説明者：教務主任)
- ・ 中学校訪問について (説明者：首席)
- ・ 新カリキュラム編成について (説明者：首席)

4 協議「本校の現状を踏まえて」

【委員からの意見】

放送研究会の活動は堺市で評判になっている。全日制や地域と連携する取組はとても良いので今後、増やして行ってほしい。

18歳以上の支援が必要な生徒を就労支援につないでいるという説明があったが、18歳未満の支援が必要な生徒を就労支援につなぐことは行政的に難しい。今後、学校としても課題になってくると考える。

教員数が減る中で、中学校訪問72校や多くの大会等でよい成績を収めていることを考えると教職員の頑張りが分かる。

1クラス約20名程度で授業を行っており生徒にとって、とても良い環境で学習ができている。さらに、英語や数学において少人数展開（1クラス2展開等）を行っているため学び直しを行う環境としてとても良い。

小中学校で傷ついた自尊心を再生するのではなく再び育てるため、授業やクラブ活動、ボランティア活動等いろいろな形で自分を表現できる場が作られておりとても良い。授業見学を行った際に、授業に取り組めていない生徒に対し声掛けを行いながらうまく刺激を与えている。

【委員からの質問】

委員：授業アンケートについて平成30年度3年次の値と同じ生徒群の平成29年度2年次の値を比べると本年度下がっている。このことについて学校として何か考察はあるか。

事務局：授業アンケートは、授業担当者毎にアンケートを実施しているため指導を行う授業担当者が変わると年次平均が大きく変化する。そのため、本校では年度を跨いで比較することより前期と後期の比較を重視している。

委員：府教育庁より育成支援チームの研修を受け次年度以降に行っていく具体的な実効策及び改善案について組み立てていると説明を受けたがどのようなものが出ているか。

事務局：全3回で行う研修であり現在は本校の強みや弱みを洗い出している。12月19日に行う第3回において具体的な実効策や改善案ができたなら次回の学校運営協議会で紹介する。

委員：給食を見学したが喫食数が少ない。その原因と対策はあるか。

事務局：原因としては、8月・9月分の支払いが7月又は夏休み中に当たり、申し込みを忘れてしまう生徒が多く喫食数を下げている。また、1か月分を事前申し込みするため、仕事等により欠席や遅刻する際に給食がキャンセルできないため給食費がもったいないと考える生徒もいる。

対策として申し込みを忘れている生徒には教員が随時声掛けを行っている。

また、新規開拓を行うため、10月30日に府教育庁から予算をいただき全生徒に給食を試食するイベントを行う。

5 事務連絡等

第3回は平成31年2月5日（火） 18時00分